令和8年度　全国学力・学習状況調査　児童・生徒質問調査結果の概要（松山市）

1 生活習慣や学習環境等に関する質問調査における本市の状況について

○　全国の平均値と比較すると、次にあげる設問で良好な状況でした。

【小学校】

全国と比較し良好である主な設問（3.0ポイント以上の差がある設問）

番号	設問内容	比較基準	松山市	全国	全国との差
（4）	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）	「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」「30分より少ない」と回答した児童の割合	41.1	37.6	3.5
（23）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童の割合	58.7	49.9	8.8
（27）	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか	「だいたい週に4回以上行く」「週に1～3回程度行く」「月に1～3回程度行く」と回答した児童の割合	41.4	34.9	6.5
（36－3）	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか	「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童の割合	73.1	69.5	3.6

＜全69項目中4項目が該当＞

【中学校】

全国と比較し良好である主な設問（3.0ポイント以上の差がある設問）

番号	設問内容	比較基準	松山市	全国	全国との差
（4）	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）	「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」「30分より少ない」と回答した生徒の割合	28.1	23.9	4.2
（35）	1，2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	「ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）」「ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業）」「週3回以上」と回答した生徒の割合	87.5	78.2	9.3
（36－1）	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した生徒の割合	88.1	84.8	3.3
（80）	1，2年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した生徒の割合	74.3	61.3	13.0

＜全75項目中4項目が該当＞

○ 全国の平均値と比較すると、次にあげる設問で課題が見られました。

【小学校】

全国と比較して課題のある主な設問（3.0ポイント以上の差があるもの）

番号	設問内容	比較基準	松山市	全国	全国との差
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	88.3	91.4	−3.1
(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	67.6	70.6	−3.0
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	64.8	69.6	−4.8
(52)	国語の勉強は得意ですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	54.8	60.4	−5.6
(53)	国語の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	53.8	57.4	−3.6
(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	78.5	81.5	−3.0
(56)	5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	「よくある」「たまにある」と回答した児童の割合	73.1	78.1	−5.0
(57)	5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	「よくある」「たまにある」と回答した児童の割合	70.6	75.1	−4.5
(60)	算数の勉強は得意ですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	54.4	60.1	−5.7
(61)	算数の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	53.7	57.6	−3.9
(62)	算数の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合	73.6	77.5	−3.9

＜全69項目中11項目が該当＞

【中学校】

全国と比較して課題のある主な設問（3.0ポイント以上の差があるもの）

番号	設問内容	比較基準	松山市	全国	全国との差
（9）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	86.3	90.9	−4.6
（13）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	67.4	71.9	−4.5
（20）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	59.7	67.5	−7.8
（23）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した生徒の割合	56.7	61.6	−4.9
（24）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）	「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した生徒の割合	8.9	12.0	−3.1
（25）	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」と回答した生徒の割合	25.4	29.9	−4.5
（36−4）	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した生徒の割合	76.0	80.0	−4.0
（38）	1，2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」と回答した生徒の割合	60.6	65.5	−4.9
（39）	1，2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	73.6	78.8	−5.2
（40）	1，2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	66.4	70.8	−4.4

（43）	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	75.9	79.0	−3.1
（45）	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	81.5	85.2	−3.7
（49）	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	80.8	84.5	−3.7
（52）	国語の勉強は得意ですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	46.6	51.6	−5.0
（54）	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	73.6	76.8	−3.2
（56）	1，2年生のときにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	「よくある」「たまにある」と回答した生徒の割合	65.9	73.0	−7.1
（57）	1，2年生のときにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	「よくある」「たまにある」と回答した生徒の割合	66.2	71.8	−5.6
（61）	数学の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	53.1	56.1	−3.0
（62）	数学の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	68.5	74.2	−5.7
（65）	1，2年生のときにうけた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	73.2	77.8	−4.6
（66）	1，2年生のときにうけた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	55.1	60.4	−5.3

（67）	1，2年生のときにうけた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	65.0	68.4	−3.4
（69）	英語の勉強は得意ですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	34.6	39.5	−4.9
（70）	英語の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	47.3	51.2	−3.9
（71）	英語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	59.1	64.2	−5.1
（73）	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	29.0	34.1	−5.1
（75）	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	32.7	36.6	−3.9

＜全75項目中27項目が該当＞

2　全国学力・学習状況調査における本市の目標及び指標について

全国学力・学習状況調査では、「教科に関する調査」と「学習意欲や学習方法、学習環境等に関する質問紙調査」が実施されています。本市では、「教科に関する調査」については、授業の在り方や指導方法の改善を図るための資料として扱っているため、目標を特に設定していません。しかし、「学習意欲や学習方法、学習環境等に関する質問紙調査」については、児童生徒の学力向上を図るうえで、学習習慣を身に付け、家庭学習の充実を図ることが重要であると考えており、目標と指標を設けています。

目　標　　家庭における学習習慣の定着

指　標　　全国学力・学習状況調査の「学習意欲や学習方法、学習環境等に関する質問紙調査」の、「学校の授業時間以外に，普段（月から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」において、１日当たり1時間以上の家庭学習時間が確保できている児童生徒の割合について、小学校6年生、中学校3年生ともに76％以上

○　本市の指標に関する全国学力・学習状況調査への回答状況

小学校		選択肢 1 3時間以上	2 2時間以上、3時間より少ない	3 1時間以上、2時間より少ない	4 30分以上、1時間より少ない	5 30分より少ない	6 全くしない	その他	無回答	1時間以上家庭学習できている児童の割合	本市の指標との差	本市の指標
R4	本市	12.1	16.7	42.9	21.1	5.8	1.4	0.1	0.0	71.7	−4.3	76%以上
	全国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2	0.0	0.0	59.4		
R5	本市	11.2	16.5	40.8	23.8	6.1	1.6	0.0	0.0	68.5	−7.5	
	全国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6	0.0	0.1	57.1		
R6	本市	10.6	14.5	39.0	24.8	8.8	2.4	0.0	0.0	64.1	−11.9	
	全国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3	0.0	0.0	54.6		
R7	本市	10.3	15.1	38.1	26.2	8.2	2.2	0.0	0.1	63.5	−12.5	
	全国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7	0.0	0.1	54.0		
R8	本市	8.4	12.3	38.0	28.7	9.3	2.8	0.0	0.4	58.7	−17.3	
	全国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7	0.0	0.7	49.9		

中学校		選択肢 1 3時間以上	2 2時間以上、3時間より少ない	3 1時間以上、2時間より少ない	4 30分以上、1時間より少ない	5 30分より少ない	6 全くしない	その他	無回答	1時間以上家庭学習できている生徒の割合	本市の指標との差	本市の指標
R4	本市	8.1	25.9	35.2	17.6	8.9	4.2	0.0	0.0	69.2	−0.8	70%以上
	全国	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9	0.0	0.0	69.5		
R5	本市	6.3	21.6	34.4	19.7	12.0	5.7	0.0	0.2	62.3	−13.7	76%以上
	全国	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0	0.0	0.2	65.8		
R6	本市	6.3	21.7	35.1	20.0	10.1	6.4	0.0	0.0	63.1	−12.9	
	全国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6	0.0	0.0	64.3		
R7	本市	7.5	18.7	30.8	20.8	13.4	8.4	0.0	0.3	57.0	−19.0	
	全国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7	0.0	0.4	61.6		
R8	本市	5.3	17.8	33.6	21.7	13.5	7.8	0.0	0.3	56.7	−19.3	
	全国	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9	0.0	0.4	61.6		

○　結果のまとめ

・小学生については、1日1時間以上の家庭学習ができている児童の割合（58．7%）が、全国（49.9%）と比較した場合は上回る状況であるが、本市の指標76%を下回っている状況です。
・中学生については、1日1時間以上の家庭学習ができている生徒の割合（56．7%）は、本市の指標76%を下回っており、全国（61．6%）と比較した場合も下回っている状況です。

3　考察と今後の方向性について

【家庭学習と学力との関係】
・「学校の授業時間以外に、普段（月から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の質問に対し、「１時間以上」と回答した児童生徒の割合は、小学校では５８．７％と全国を上回っていますが、本市の定めた指標を下回っています。一方、中学校は、５６．７％であり、本市の指標を下回っているだけでなく、全国と比較した場合も下回っている状況です。家庭学習の時間の減少は全国的な傾向であり、本市も同様の結果でした。
・本市の質問調査と学力調査の結果を分析すると、小中学校とも、全ての教科において、家庭学習の時間が長い児童生徒ほど平均正答率が高い傾向が見られました。今後も、児童生徒の自主性を育む方針を継続しつつ、個に応じた適切な課題を課すなどの工夫により、家庭学習の時間を確保し基礎学力の定着に努める必要があります。

【ICTを利用した学習と学力との関係】
・本市の質問調査と学力調査の結果から、「自分はICTを活用することができている」と感じている児童生徒ほど、各教科における平均正答率が高い傾向が見られましたが、家庭学習でICTを利用している時間が長いほど平均正答率が高いという傾向は見られませんでした。ICTを学習の基盤として活用することは、他者と協働しながら課題解決に向けて取り組んだり、多様な考えに触れることで自分の考えを深めたりすることが容易になるという利点があります。今後も、児童生徒が学習内容や目的に応じてICTの活用方法を選択する力を育んでいきます。

【支持的風土のある学級づくりの必要性について】
・「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」という質問に対して、小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は６４．８％で、全国平均を４．８ポイント下回りました。中学校においても、同質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は５９．７％で、全国平均を７．８ポイント下回りました。児童生徒が授業の中で、自分の意思を尊重してもらえることは、授業に主体的に取り組む態度や他者と交流しようとする意欲につながると考えます。そのため、今後も引き続き、誰もが安心して過ごすことのできる学級の雰囲気づくり（支持的風土のある学級づくり）を目指していく必要があります。

【「自立した学習者」の実現に向けた取組について】
・教科に関する調査では、全ての教科で全国の平均正答率とほぼ同じ結果でしたが、「各教科の勉強は得意ですか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校英語と中学校数学を除いて、全国平均を3ポイント以上下回りました。また、「各教科の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全ての教科（小学校英語は調査対象外）で、全国平均を3ポイント以上下回っており、本市の児童生徒は、身に付けている学力に比べて「分かる」「得意」という意識をもつには至っていないということが分かりました。結果と意識の開きを小さくするには、「学びの実感」を生み出す学習過程を組み立て、学習活動を充実させることが必要です。さらに、児童生徒が「学びの実感」を得るとともに、言葉等で表現することを通して、その実感を広げ、深めることができるよう学習展開を工夫していく必要があります。今後も、自ら問いを立て、他者との交流の中で学びを深め、身に付けた力を活用して粘り強く問題解決に取り組む子ども（「自立した学習者」）の育成に向け、それを支え伴走する教師の姿を目指します。